



レファレンス通信

No. 7

2010. 11. 29
石川県立図書館
利用サービスグループ
〒920-0964
金沢市本多町 3-2-15

藩政時代から加賀・能登では俳諧が盛んで、現在も石川県には多くの古俳書が残されています。今回は主に明治以前の古俳句の調べかたや県内の古俳書についてご紹介します。

俳句や俳人、俳書を調べるには

『俳文学大辞典』 尾形侑他編 角川書店 1995.10 (911.3/1380)

連歌・俳諧・雑俳・川柳から近現代俳句まで約 10,300 項目を収録・解説しています。

『俳句辞典 近世』(増補版) 松尾靖秋編 桜楓社 1982.5 (911.3/685/1)

近世の俳諧について、約 1,600 項目について解説したものです。「近代編」(911.3/6895/2)もあります。

『俳諧大辞典』 伊地知鉄男他編 明治書院 1978 (911.3/317)

連歌・俳諧・川柳・現代俳句に関係のある約 5,000 項目について収録・解説しています。

『新俳句大観 三句索引』 明治書院 2006.10 (R911.3/10221)

古典俳句の名句から昭和 20 年代までの現代俳句が、第一句、第二句、第三句のどの句からでも引けます。

『詳解名句辞典』 麻生磯次・小高敏郎著 創拓社 1990.11 (911.3/1139)

古俳句の名句、現代俳句を収録しています。初句索引、二句索引、人名索引、俳書索引、季語索引があります。

『近世俳句大索引』 安藤英方編 明治書院 1979.8 (911.3/825)

明治以前の俳句約 6 万句を収録し、初句の五十音順に配列しています。

『俳諧研究文献目録』 日外アソシエーツ 2008.3 (R911.3/10453)

古典俳文学に関する専門書・研究文献を「連歌」「俳諧」「雑俳・川柳」に大別して収録しています。

『近世文学研究事典』(新編) 岡本勝・雲英末雄編 おうふう 2006.2 (R910.25/10023)

近世文学に関する書名、人名、事項について、参考文献を掲載しています。先行の文献を知ることができます。

『芭蕉 日本文学研究大成』 雲英末雄編 国書刊行会 2004.11 (911.32/10084)

芭蕉や蕉風俳諧についての研究文献の中から特に優れたものや必読文献を収録しています。

『天理図書館綿屋文庫俳書集成』

天理大学出版部 1994.4~2000.4 (911.3/10134/1~36, B1~B2)

『俳書叢刊』

天理図書館綿屋文庫編 臨川書店 1988 (911.3/1007/1~9)

『日本俳書大系』

勝峰晋風編 日本図書センター 1995.8 (911.3/10133/1~17)

『古典俳文学大系』 集英社 1975~1977 (911.3/518/1~16)

『近世俳諧資料集成』

中村俊定編 講談社 1976 (911.3/655/1~5)

★インターネットで俳句を調べる★

「俳諧データベース」

国際日本文化研究センター (<http://www.nichibun.ac.jp/>)

芭蕉、蕪村をはじめ主要な俳諧作品をデータベース化したもので、作品集成立年順・作者名順・作品名順・語句検索ができます。



『都会帖』 生生瑞等編 享和3(1803)年 (月明文庫所蔵)

加賀・能登の古俳書について知るには

『加越能古俳書大観』上編・下編 石川県図書館協会 1971.6 (K080/10/23/1~2)

加賀・能登・越中の古俳書を活字化したもので、延宝8(1680)年刊の「白根集」から宝永元(1704)年刊の「干綱集」までを収録しています。下編巻末にはそれぞれの俳書についての解説があります。

『加能俳諧史 改訂』大河良一著 清文堂出版 1974.3 (K913/173)

寛永15年(1638)年から慶応4(明治元・1868)年まで、一年ごとに加賀・能登の俳文学界の動きを記したものです。巻末に人名索引があります。

『加越能古俳書解題』石川県図書館協会 1930.3 (K913/83)

天和元(1681)年の「加賀染」から明治の俳書まで約230点の解題です。巻末に五十音順書名索引があります。

『北陸古俳書探訪 ー北枝と珈涼の周辺ー』牧孝治著 北国出版社 1979.4 (K913/225)

加能俳書の中の特に「やまなか集」「卯辰集」について詳細に述べられています。坂尻屋珈涼の句集「越路之記・内題渡り鳥」も収録されています。

『続・北陸古俳書探訪 ー郷土文芸の原点ー』牧孝治著 石川出版社 1987.11 (K913/225/2)

「加賀染め」「その花」の詳しい解説やその他の加能俳書の解説などが記されています。

『月明文庫目録』石川県立図書館 2003.3 (K029/1026)

当館所蔵の俳書コレクション『月明文庫』の目録です。「加能俳書目録」も収録されています。(『月明文庫』収載分のみ)

『月明文庫』とは・・・江戸期を中心とした俳諧資料のコレクションで加賀能登の俳書も数多く所蔵しています。蔵尚太郎(俳号月明)氏、蔵尚之(俳号巨水)氏が親子二代にわたって収集された俳諧資料を平成13年11月に寄贈を受けました。

『俳籤譜』竿林子編 (K913/463)

『続・俳籤譜 ー月明文庫古俳書解題ー』蔵巨水著 くらげ社 1980.4 (K913/463/2)

蔵尚太郎氏、蔵尚之氏による、月明文庫所蔵資料の解題です。

加賀・能登の代表的俳人について知るには

「加賀の千代女」を知る

『加賀の千代全集』(増補改訂版) 中本恕堂著 北国出版社 1983.9 (K913/268)

『松任の俳人千代女』山根公著 松任市 1990.10 (K913/392)

『加賀の千代研究』中本恕堂著 北国出版社 1972 (K913/186)

『不思議の名人加賀の千代女』松居高生著 能登印刷出版部 2005.1 (K913/1103)

「河合見風」を知る

『加賀の俳人河合見風』蔵角利幸著 桂書房 1998.6 (K913/1012)

『郷土の俳人河合見風』中田風来著・編 津幡町 1994.5 (K913/429)

「立花北枝」を知る

『俳人北枝 ーその人と句ー』(郷土シリーズ10) 殿田良作著 石川県図書館協会 1993.3 (K080/11/10)

『北陸古俳書探訪 ー北枝と珈涼の周辺ー』(前出)

「芭蕉の加賀での足跡を知る

『芭蕉・北陸道を行く「おくのほそ道」をてがかりとして』密田靖夫編 北国新聞社出版局 1998.7 (K913.6/1013)

『加賀俳壇と蕉風の研究』李炫瑛著 桂書房 2002.8 (K913/1055)

『加賀蕉門の秀句』藤縄慶昭著 いろは堂印刷所 1998.12 (K913/1016)

『松尾芭蕉とその門流 ー加賀小松の場合ー』綿抜豊昭著 筑波大学出版会 2008.1 (K913.6/1131)

調べものは調査相談カウンターまで

電話:076-223-9575 FAX:076-222-2531 メール:chosa@pref.ishikawa.lg.jp